
万年堂の子供達

彩彦

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

万年堂の子供達

【Nコード】

N1965D

【作者名】

彩彦

【あらすじ】

冬の入り始め、僕は走る。子供になる為に。

「万年堂の奥に扉があるの知ってる？
その扉はね。いろんな世界に通じてるんだって」

知らないはずが無い。

俺達が小学生の時流行った嘘。
いわゆる都市伝説ってヤツだ。

「恵子はオキラクだね。高校生にもなってそんな夢物語を信じているの？」

胸のポッケからタバコを一本取り出す。

「夢があるっていい事だとおもっただけだなあ」

少女はぴょんと縁石、あの道に沿って盛り上がったコンクリートの上に飛び乗った。

「達彦君は夢が無いの。だからタバコなんか逃げちゃっただよ。」

耳が痛いなあ。的を突いている。

自嘲気味にクスリと笑って、火を付ける。

吐き出した煙は、冬のこの街に溶けていく。

俺もこの煙みたいにな、街の一部になっていくんだろう。

「駄菓子屋の奥にひっそりとある真っ黒い扉。

まあ刺激に飢えてるヤツには格好の餌だな。」

特に未だ世界には不思議が溢れている。とか考えちゃうお子様には。

「ねえ？確かめに行こうよ。

あたし達がまだ子供だったことを」

噂では、扉は子供しかくぐる事ができず、中は自分の夢や願望が叶う世界があるらしい。

俺は来年から社会人になる。

果たしてくぐる権利があるのだろうか？

ちょうどバスが来て、恵子は俺の声を無視して飛び乗ってしまう。

ため息を吐いて、タバコを地面でもみ消す。

恵子は人もまばらなバスの最後尾に陣取り、外を眺めていた。

「そんなに急いで、どんな世界に行きたいんだ？」

「達彦君が私と一緒に大学に行く世界」

「あのなあ・・・」

俺だって好きで社会人になる訳じゃない。

ただ、仕方の無いことなのだ。

「解ってるよ！」

でも、今の達彦君は無理してる感じがする

昔はもつと笑ってたもん」

それっきり会話は途絶えてしまった。

万年堂前→万年堂前。

間延びしたアナウンスが流れ、子供達は降りる。

プシューというドアが閉まる音がして、大人を乗せたままバスは進む。

思えば、子供で無くなってしまったのはいつだったのか。
彼女はあの黒いドアをくぐる事ができるのだろうか。
大学生の俺と出会えるのだろうか。

実は俺は、一度あの扉を開けた事がある。

中に何があったのかは忘れてしまったが、ひどく興奮したのを覚えている。

俺がまだ僕だった時に流した噂。

それが広がって、大きくなって、一人歩きを始めた。

そんな事を思い出した。

「すいません。降ります。」

停留所の近くにあったゴミ箱にタバコを投げ捨てて、僕は走り出した。

すぐにわき腹が痛くなり、息は上がり始める。

それでも、心は子供のように軽やかで、無邪気に弾んでいた。

空だって飛べそうな速さで、時間は進んでいく。

これからも大人にならなきゃいけない時はあるだろう。

そんな時は万年堂へ行こう。

そこだけでは、僕は子供なんだ。

今なら、なんでもできる。

（後書き）

先日、帰省ついでにモデルとなった駄菓子屋へ行きました。

おばちゃんが僕の顔を覚えていてくれたのにビックリ。

ラムネを飲みながら世間話をする、ついこないだラムネをケースごと持ち去った子供がいるそうです。

いつの時代も悪ガキってのはいるものですね。

さて、万年堂の話は続き、というか連載を書く気があります。見かけたら愚息でありますが見てあげてください。こちらはコメディにするつもりです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1965d/>

万年堂の子供達

2010年10月11日02時00分発行